

町長と語る『まちづくり座談会』開催希望団体等を募集します

町では、町内で活動する団体やグループ、行政区等(以下「団体等」といいます。)がそれぞれ抱える課題や問題について、町長と意見交換を行う「まちづくり座談会」事業を開始します。

この「まちづくり座談会」は、町長が皆さんのもとへ出向き、対話による協働を推進するとともに、今後のまちづくりに皆さんの声を反映させ、町政の推進をより一層図ることを目的に行います。

日頃から皆さんが考えていること、感じていることなどについて、町長と語り合ってみませんか。

対象 ● 町内で活動している概ね5人以上の参加が見込まれる団体等

申込 ● 座談会開催を希望する団体等の代表者は、申込書

に必要事項を記入のうえ、小鹿野庁舎・総務課へ持参、郵送又はFAXでお申し込みください。なお、申込書は下記施設の窓口においてあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。※日程については、変更をお願いする場合がありますのでご了承ください。

設置施設

- 小鹿野庁舎・総務課
- 両神庁舎・おもてなし課
- 小鹿野文化センター
- 保健福祉センター
- 国保町立小鹿野中央病院
- 両神ふるさと総合会館

町ホームページ

町政情報 > 広報・広報・統計 > まちづくり座談会

問合せ ● 小鹿野庁舎・総務課

☎75-1221 FAX75-2819

こんにちは。
町長です。



梅雨明けが近づき、いよいよ夏本番の季節を迎えますが、去年のような猛暑にならないことを願っています。

さて、去る6月2日(日)に愛知県尾張旭市で開催された第70回全国植樹祭に参加する機会をいただきました。当日の記念式典は、今上天皇皇后両陛下ご臨席のもと、厳粛な雰囲気の中、大勢の方が参加され盛大に挙行されました。

この式典の表彰の中で、小鹿野町三山の新井清様が公益社団法人国土緑化推進機構会長賞(感謝状)を受賞され、当日、新井様もご出席いただきました。新井様は三山久月の光西寺周辺にシダレザクラを植栽し「しだれ桜の里」を整備するとともに、長い間、林業に従事し平成13年の埼玉県立武道館建設工事に材木を供給したり、小鹿野町町有林約100ヘクタールの保育作業等にもご協力いただきました。これら長年にわたる緑化活動や林業振興の功績が認められ今回の表彰となりました。誠にありがとうございました。

今回、全国植樹祭に参加する中で、改めて森林、林業について考えました。

森林は、水源の涵養や土砂災害の防止、大気の浄化などの公益的機能をはじめ、木材等を供給する経済的機能も有していると存じます。

全国植樹祭に参加し森林の大切さを学ぶ

今、一番問題なのが経済的機能面の林業であると思います。林業は戦後の住宅建設等の需要により地域経済を支える産業として成長して参りましたが、外国からの安い輸入材に押され国産材の需要が減ったことなどから衰退しているのが現状です。戦後に植林した人工林の多くが、伐採期を迎えていますが木材価格の低迷などにより、なかなか手が入らない状況です。

このような中、国では「森林経営管理法」や「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」を制定し、市町村が森林経営に関与して森林所有者や林業経営者と連携して森林整備を進めることとなりました。

現在、小鹿野町をはじめとする秩父地域1市4町などで構成する秩父地域森林林業活性化協議会(会長・秩父市長)では、この森林経営管理法の施行に合わせ「集約化分科会」を4月1日から設置し、2名の「集約化推進員」を配属し、新たな森林管理システムを実施していく体制を整えました。

また、森林環境譲与税の使途として、小鹿野町のような山間部の市町村では森林経営管理制度に基づく人工林の森林整備や担い手の確保などが求められています。一方、都市部の市区町では、森林整備を支える木材利用や普及啓発等の取り組みが期待されます。

そこで、秩父地域森林林業活性化協議会では、荒川下流域の市区町に荒川上流域(秩父地域)の森林整備・木材利用等に森林環境譲与税を活用していただくよう積極的な働きかけを始めています。

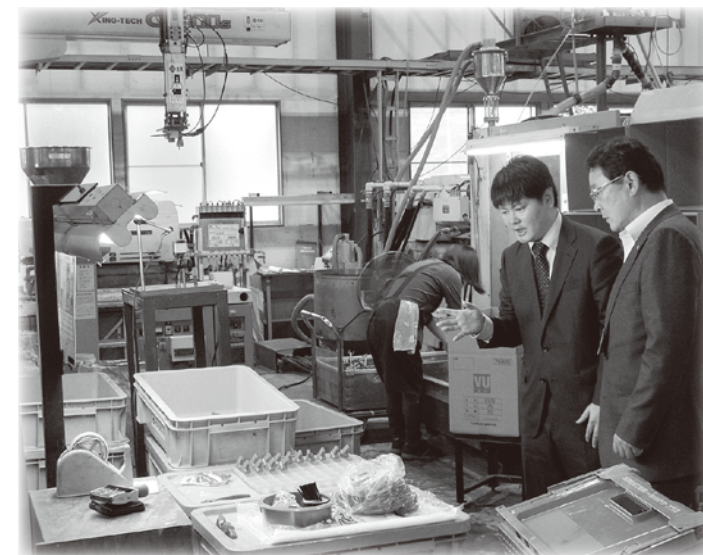
小鹿野町長 森 真太郎

町長の まち・ひと・しごと 魅力発信

～ 事業所訪問 vol.16 ～

「株式会社トウ・プラス」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



生産工程の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第16回の事業所訪問は、5月14日に株式会社トウ・プラスを訪問し、浅賀隆之常務取締役にお話を伺いました。

株式会社トウ・プラスは、昭和34年(1959年)、初代が秩父地域で初のプラスチックを主に扱う会社として、秩父市で創業しました。プラスチックの成形に付加価値をつけた塗装技術と蒸着の基幹技術を有する、プラスチック製品の加工を行う企業です。国内は小鹿野工場を含む6拠点、海外は2拠点の事業所があります。

案内していただいた小鹿野工場は、プラスチックの成形ラインが整備されており、女性社員により手際よく作業されておりました。出来上がった製品は寺尾工場、荒川工場で塗装・蒸着加工が施されます。

射出成形機、塗装ライン、真空蒸着機、金属切削機を自社で所有し、社内完結の一貫した生産が可能で、レーザーマーキングや印刷など、外観加飾においての二次加工設備や測定評価機器なども多数完備され充実しておりました。



浅賀常務取締役(左)

平成14年(2002年)、同社の蒸着技術で携帯電話の表面を鏡面仕立て処理に成功したことは、世界初の全面蒸着として認められた瞬間となりました。

プラスチック成形加工技術の追求と付加価値の応用技術の確立のために常に努

力を惜しまない姿勢、さらに信頼、技術、実績の蓄積が調和された企業だからこそ、創業から60年という長きに亘り引き継がれてきた証であると感じました。

わが社の主力製品

蒸着・塗装・樹脂成形・金属加工など幅広い加工技術を用いて、携帯電話・デジタルカメラ・携帯ゲーム機などの外観加飾を施し、お客様のニーズに合った個性的で意匠性の高い製品を提供しております。

また、海外拠点では大型量産にも対応可能なキャパシティを有し、グローバルな対応を行っております。

ここに自信あり

当社は、金型の設計から成形・塗装・蒸着・金属加工・二次加工・出荷まで社内完結の一貫生産を行っております。社内での製品のコーディネートをすることで工程上の無駄を省き、低コスト・短納期・高品質を実現しております。プラスチックと金属、それぞれの特性を生かしたデザイン性に富んだ加飾の提案をしております。

また、当社は世界を代表するメーカーよりOfficial Supplierの認定を受けており、各社の厳しい品質基準にも合格する、優れた加工製品の提供が可能です。



女性社員による検査作業

会社概要

代 表 者	代表取締役社長	浅賀基久
	常務取締役	浅賀隆之
従業員数	90名(国内拠点)	
創 業	1959年	
所 在 地	本社:秩父市桜木町3-17 小鹿野工場:小鹿野町下小鹿野1103-1	
電 話	0494-75-0700(小鹿野工場)	